

# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

## 2017 AUTOBACS SUPER GT Report OKAYAMA GT300km RACE

第1戦 岡山国際サーキット

### ZENT CERUMO LC500

#### #38 立川祐路／石浦宏明

◆4月8日(土) QUALIFY

公式予選総合結果 4位(1分25秒098)

<公式予選>天候：曇り コース状況：ドライ



いよいよ長いオフシーズンを終え、2017年のSUPER GTが開幕を迎えた。今シーズン、LEXUS TEAM ZENT CERUMOはGT500クラスで導入された新规定に合わせたニューマシン、ZENT CERUMO LC500でチャンピオン奪還を目指し戦う。立川祐路と石浦宏明のドライバーコ

ンビはそのままに、オフにマレーシアのセパンサーキットで行われたテストをはじめ、国内外のサーキットでテストを重ね熟成してきたZENT CERUMO LC500に、チームは大きな手ごたえを感じ開幕を迎えていた。

とくに、3月18～19日にここ岡山国際サーキットで行われた公式テストでは、第1戦に向けて豊富なデータを収集。開幕ダッシュを決めるべく、村田卓児エンジニアは完璧なセットアップを施し、テストの際の“暫定カラー”から一新、ZENTのキャンペーンである『遊べ、もっと。』とリンクした本番仕様カラーリングがZENT CERUMO LC500に施され、第1戦の舞台に臨んだ。

オフのテストが好調だったこともあり、走行前日からリラックスしたムードで迎えていたLEXUS TEAM ZENT CERUMO。予選日となる4月8日(土)



# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

のサーキットの天候は曇り。前夜から雨が降っていたため、午前9時からの公式練習はウエットコンディションからスタートした。

LEXUS TEAM ZENT CERUMO は次第に乾いていくコンディションのなかでプログラムを進めていき、1時間45分のセッションのなかで立川が20周、石浦が9周を周回。最終的に立川が最終周にマークした1分18秒600というタイムで、このセッションをトップで終える。公式テストで得られたデータをもとにセットアップされた ZENT CERUMO LC500 には「乗りやすい」とドライバーふたりも太鼓判。午後の予選では、立川がもつポールポジション記録（22回目）に大いに期待がかかった。



迎えた午後2時45分からの公式予選。Q1は石浦が ZENT CERUMO LC500 のステアリングを握り、セッションが残り9分34秒になったところでコースに入っていく。石浦は2周目には1分28秒台、翌周には1分25秒台と、タイヤをしっかりとウォームアップさせながら、5周目にアタックを開始。ここで石浦は「細かいミスをしてしまって、自分としては満足できるアタックではなかった」というものの、1分18秒521というタイムをマーク。これを破るライバルは現れず、Q1をトップで通過することに成功した。

これでますます期待がかかる立川のポールポジション記録更新。GT300クラスの予選Q2で赤旗が出たため、GT500のQ2は少々遅れて午後4時15分にスタートした。天候は変わらず雲が厚い状況で、時折パラパラと雨が舞っていたため、ライバル勢は通常と異なり、早めにコースインしアタックを仕掛けていたものの、LEXUS TEAM ZENT CERUMO は影響はないと見て、残り8分で立川をコースインさせる。

ZENT CERUMO LC500 を駆る立川は、2周目に1分30秒213、そして翌周には1分25秒098と、Q1の石浦と同様にしっかりウォームアップを行



# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

いアタックに入っていく。セクターごとにトップタイムを更新していく立川のアタックぶりに、サーキット中が記録更新を確信していた。



しかし、迎えたマイクナイトコーナーで、立川の眼前を走っていた#36 LC500 がコースを外れてしまい、最終コーナーのバリアにクラッシュしてしまう。ちょうど立川が最終コーナーをクリアしようかというタイミングで、無情にもコントロールタワーにレッドフラッグ

が提示されてしまった。あとわずか数秒の差だったが、これで立川のアタックタイムは抹消されてしまう。

この段階での ZENT CERUMO LC500 のタイムは、1分 25 秒 098。当然ウォームアップ中のタイムだが、4番手というポジションだった。もちろん狙うはポールポジション。午後4時35分に、残り3分間という時間でQ2は再開されると、立川はふたたび ZENT CERUMO LC500 に鞭を入れる。

しかしその直後、今度は#16 NSX-GT にトラブルが起きたか、なんとコース上でストップ。ふたたび赤旗となり、ZENT CERUMO LC500 はアタックできずにそのまま Q2 は終了となってしまった。ポールポジションを確実に狙えるポテンシャルはありながら、無情のセッション終了だ。

とは言え立川は「赤旗は安全のためですから、仕方ないです。ポールポジション記録更新はできませんでしたが、決勝では最多勝記録を伸ばしにいきたいと思います」と笑顔をみせた。これも ZENT CERUMO LC500 に自信があるからできる発言だろう。チームは開幕勝利に向けてたしかな感触を得て、4月9日の決勝レースに挑む。



# LEXUS TEAM ZENT CERUMO



## ドライバー／立川祐路

「テストでのデータからセットアップを作ってきましたが、ドライでもウエットでも戦闘力があるクルマになっています。午前の公式練習でもトップタイムをマークできましたし、Q1でも石浦選手がトップだったので、『舞台は整ったな』と思っていたのですが……（苦笑）。正直ポールポジションは狙っていましたが、獲るしかないと思っていたのですが、目の前で36号車がコースアウトして、コントロールラインを通過する直前に赤旗が出てしまいました。安全に関わることなので仕方ないですね。残念ですが、終わってしまったことから。ポール記録更新はできませんでしたが、決勝では最多勝記録を伸ばしていきたいと思います」

## ドライバー／石浦宏明

「公式テストで得られたデータが機能していて、ドライコンディションで走る機会が少なかったにも関わらず、持ち込みのセットが良く、予選にも自信をもって臨むことができました。フィーリングはすごく良かったですね。アタックは細かいミスもあったので、自分としては満足できるものではありませんでしたが、それでもトップタイムと聞いて、『これは戦闘力がある』と確信できました。立川選手のアタックのフィーリングも良かったと聞いていただけに、ああいう終わり方になってしまったのは悔しいですが、仕方ありません。シーズンオフから準備してきたものが繋がられていると思いますし、レースは明日なので、がんばって戦えばいい結果を得られる手ごたえがあります」

# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

## 浜島裕英監督

「予選の結果は少し運が悪かったですが、クルマの仕上がりについては両ドライバーとも非常に満足してくれていて、自信をもっています。この開幕戦まで、ドライバー、エンジニア、メカニックがしっかりとクルマを作ってくれた成果が出ていると思います。決勝レースでは予選結果にとらわれず、チームがしっかりと準備して、ドライバーにしっかりと走ってもらえれば、いい結果がついてくると期待しています」



# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

## 公式予選結果表

Rank	Car No.	CarName	Q1 Time	Q2 Time
1	8	ARTA NSX-GT	1'18.620	1'20.604
2	6	WAKO'S 4CR LC500	1'18.558	1'20.960
3	37	KeePer TOM'S LC500	1'18.584	1'24.749
<b>4</b>	<b>38</b>	<b>ZENT CERUMO LC500</b>	<b>1'18.521</b>	<b>1'25.098</b>
5	17	KEIHIN NSX-GT	1'18.648	1'26.930
6	19	WedsSport ADVAN LC500	1'18.591	1'28.347
7	16	MOTUL MUGEN NSX-GT	1'18.846	タイム抹消
8	36	au TOM'S LC500	1'18.975	タイム抹消
9	1	DENSO KOBELCO SARD LC500	1'19.072	
10	100	RAYBRIG NSX-GT	1'19.089	
11	24	フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R	1'19.234	
12	64	Epson NSX-GT	1'19.269	
13	12	カルソニック IMPUL GT-R	1'19.315	
14	23	MOTUL AUTECH GT-R	1'19.386	
15	46	S Road CRAFTSPORTS GT-R	1'19.616	

※ゼッケン No.16、36 は赤旗原因車両としセッションタイム抹消。